

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
精神看護学実習	前後期	3年	必修	2単位	90h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎東中須恵子、遠藤りら、藤田友成	keiko.nakasu@tohto.ac.jp		月～金曜日(10時～16時)事前にメールでアポイントを取ること		
授業の概要					
<p>I. 精神の健康障害を持つ対象者を受け持つ。①看護の実践方法をセルフケアを中心に展開する。②入院から退院までのプロセスにおける他職種連携について理解し、看護師の役割や機能を学ぶ。II. 地域で生活する精神障がい者に対する支援を学ぶ。①精神科訪問看護について学習する。②デイケア活動に参加する。III. 入院患者の処遇や入院生活環境を通して精神科医療における法的制度の活用を知る。IV. 自己を見つめる機会を持ち自己成長に向けた課題を明らかにする。</p>					
キーワード	到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ・ストレンクス ・リカバリー ・クリティカルシンキング ・相互作用 ・専門的援助関係 ・地域生活支援 	<p>本科目のカリキュラムポリシー上の位置づけは以下の通りである。 NN-DCP2-1-2、NN-DCP2-1-3、NN-DCP2-2-1、NN-DCP2-3-2に該当する。</p> <p>1. 対象者の捉え方 ①情報収集: 情報収集の意味と情報収集のポイントを理解し、カルテや対象者とのコミュニケーションをとおして対象が理解できる。②対象者と一緒に行動することができる: 関わりを振り返ることができる。</p> <p>2. クリティカルシンキングに基づく看護過程の展開 ①アセスメント: 得た情報から対象者のストレンクスを見出し援助に繋げることができる。</p> <p>3. 相互作用の活用 ①対象者とのコミュニケーション場面の再構成を通して自己理解・他者理解ができる。②言葉と態度の一致や関係性の客観視の難しさを理解し、自己のコミュニケーションのクセに気づくことができる。</p> <p>4. 精神保健医療福祉におけるチームアプローチと看護師の役割 ①精神科医療現場の法的制度の運用について理解する。②精神保健医療福祉における各職種の役割とチームにおける看護師の役割が理解できる。</p> <p>5. 地域生活における社会資源の役割 ①さまざまな精神の健康レベルの対象者が、地域で生活していくための社会資源と、対象者やその家族に必要な援助を考察できる。</p>				
学習内容					
<p>【実習方法】</p> <p>1) 精神に疾患や障害を有する対象者を受け持ち、看護を展開する。</p> <p>2) 実習当事者と患者との相互作用の現象をプロセスレコードに起こし、自己理解、他者理解、相互理解を深め、専門的援助関係の在り方を考察する。</p> <p>3) 対象者と作業療法やレクリエーション活動へ参加して集団への治療的アプローチを見学・実践する。</p> <p>4) 地域で生活する人へのストレンクスを活かした支援活動に参加、情報収集を行い看護師としての役割と機能を考察する。</p>					

受講要件

「基礎看護学実習Ⅱ」+当該領域の「概論」・「援助論」を修得していること。

レポート	その他	合計
%	100%	100%

教員からのメッセージ

・臨地実習を通して、人のライフステージに焦点を当てたメンタルヘルスの理解と、自己のメンタルヘルスの理解、さらに、全人的視点に立ったメンタルヘルスケアを考える機会になります。無理をせず心身ともに元気で実習に臨みましょう。